



スポーツ庁

作業部会各テーマの事業案  
学業充実分野(テーマ1～4)

---

# 【学業充実】テーマ1 入学前からの動機付け

---

立命館大学 スポーツ健康科学部 学部長  
伊坂 忠夫 氏

## テーマ

## 【学業充実】 入学前からの動機付け

### UNIVASの 事業案の 概要

- ① 大学入学時から運動部学生の意識の向上を図ることを目的に、3段階に分けた入学前教育の推奨プログラムをUNIVASから加盟大学へ提示し、早期に入学が決定する運動部学生に対して、基礎知識の向上や今後の大学運動部学生としての姿勢等を教育する機会を多く提供することが望ましい

### 担当部署

学業充実委員会－学業支援部会(仮)

### 開始時期

- ① 2019年4月1日から

### 加盟に伴う 依頼事項 及び 協力をお願い したい事項 等の内容

- ① 【協力をお願いしたい事項】: 対象(大学)  
加盟大学が推薦入試等で早期に入学が決まる運動部学生に対して、UNIVASが提供する入学前教育モデルプランを参考に、学生への教育、指導を実施すること

### 各大学 各競技団体 への 影響

- UNIVASが大学の行っている運動部学生・推薦入試学生向けへの入学前教育のステージに合わせた教育プログラムのひな形を提供することで各大学は効果的な入学前教育の推奨プログラムを入学前教育の参考とすることができる
- 入学前教育を行っていなかった大学にとっては実施のスタートポイントとすることができる
- 全国のUNIVAS加盟大学における事例の情報を得ることができる。先進的な取り組みの情報が共有されることで各大学にとっての底上げが期待できる

## テーマ

### 【学業充実】 入学前からの動機付け

## 事業案

短期目標

中期目標

長期目標

2019年4月

2022年  
(設立後3年後～)

2024年  
(設立後5年後～)

#### 協力事項

加盟  
大学

- 加盟大学が推薦入試等で早期に入学が決まる運動部学生に対して、(UNIVASが提供する入学前教育モデルプランを参考に)学生への教育、指導を実施する事に関する協力をお願いする

#### 2019年4月以降のサービス

UNI  
VAS  
が  
提供  
する  
サー  
ビス

- UNIVASが提唱するモデルプログラムを提示し、加盟大学の入学前教育に悩まれる担当者等へ相談窓口を設置・提供することで、学内で必要なプログラム策定を支援する

#### 2019年4月以降の活動

- 2020年4月以降に入学前教育のUNIVAS教材(EラーニングやDVD等)を作成するための要件を固めていき、承認を得られたものを順次サービス展開していく
- 2018年度(今年度)はサービス開発のための活動指針や計画を提示する

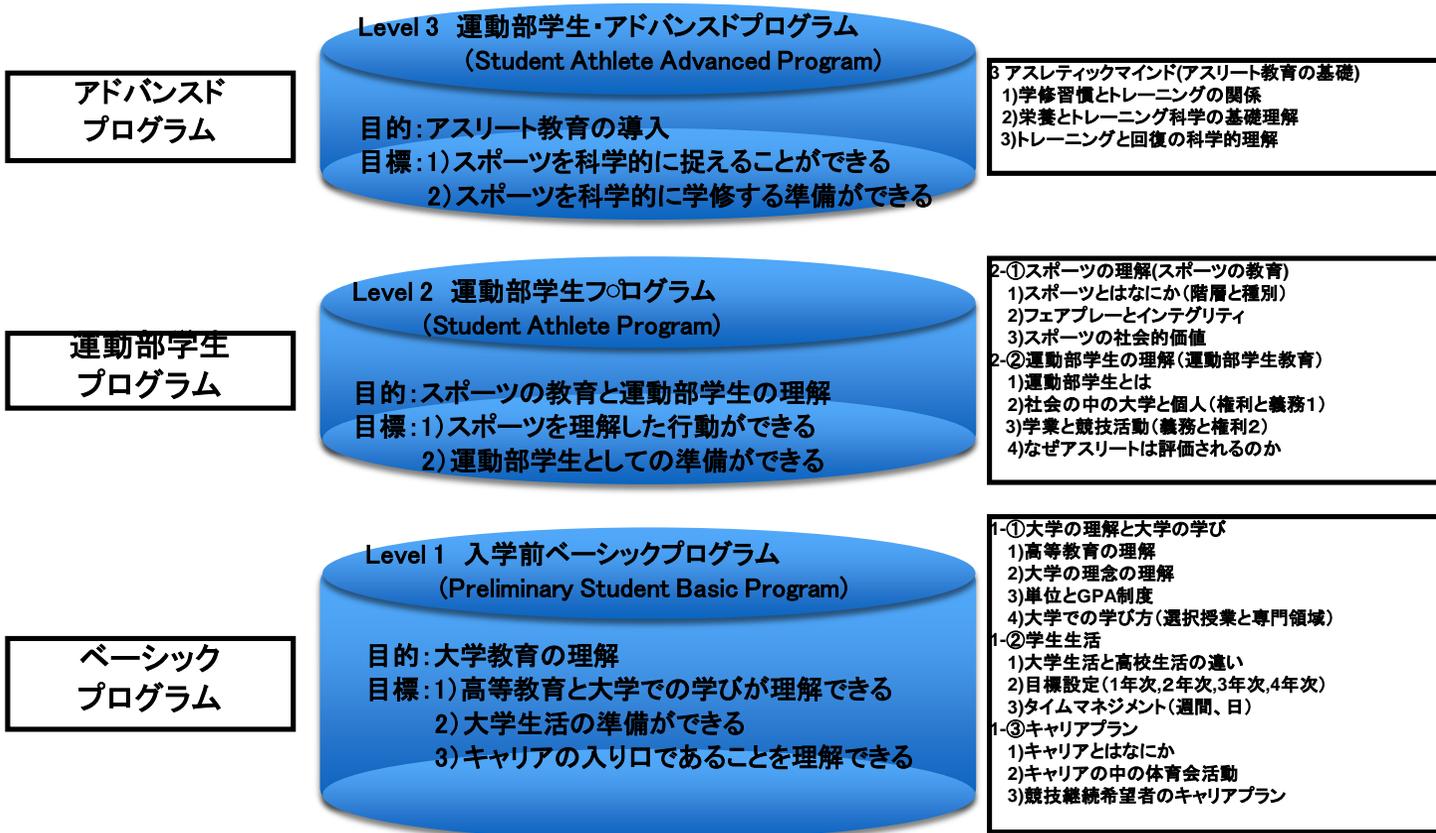
## テーマ

## 【学業充実】 入学前からの動機付け

## 事業案

### 資料①

### 学業①入学前からの動機づけ素案



最終目標:UNIVASの入学前プログラムを策定し各大学へ実施の協力をお願いする

## テーマ

## 【学業充実】 入学前からの動機付け

## 事業案

### ベーシックプログラム

- 1-①大学の理解と大学の学び  
 高等教育、大学となにか？大学の制度や評価、履修方法の理解
- 1)高等教育の理解  
 わが国の最高教育機関、義務教育ではない。自らが希望して入学
  - 2)大学の理念の理解  
 各大学には理念がある。その理念に賛同して入学。理念の理解
  - 3)単位とGPA制度  
 単位制度の理解（自習時間の必要性）、成績評価の理解(高校との違い)
  - 4)大学での学び方（選択授業と専門領域）  
 単位選択制の理解。学部で入学許可。一般教養と専門科目の理解
- 1-②学生生活  
 指定された時間割でないため、自らの計画性が重要であることの理解
- 1)大学生活と高校生活の違い  
 高校は時間割指定でクラス同一。大学は各自が異なるスケジュール
  - 2)目標設定（1年次,2年次,3年次,4年次）  
 社会に出る＝就職。4年ではなく3年の半ばから就活が始まる。将来目標
  - 3)タイムマネジメント（週間、日）  
 将来目標から逆算。授業外活動を含めた日、週間の時間管理の理解
- 1-③キャリアプラン  
 自らのキャリアに関して就職活動だけでないライフプランの意識付け
- 1)キャリアとなにか  
 就職、その後の人生を豊かにするためにはプランの必要性を理解する
  - 2)キャリアの中の体育会活動  
 時間が無い体育会学生のための効率的活動と他者に無い長所の理解
  - 3)競技継続希望者の就活  
 理解のある企業、新規開拓、プロ志望者含め2nd,3rdキャリアの意識

### 運動部学生プログラム

- 2-①スポーツの理解(スポーツの教育)  
 多くの運動部学生が理解していないスポーツの本質や価値について
- 1)スポーツとはなにか（階層と種別）  
 高度化や大衆化、スポーツの捉え方の種別についての理解
  - 2)フェアプレーとインテグリティ  
 フェアプレー精神とスポーツの純粋さ高貴の理解
  - 3)スポーツの社会的価値  
 現代社会とスポーツの相互関係からスポーツの社会的価値を理解する
- 2-②運動部学生（運動部学生教育）  
 大学に学生として入学。その中でアスリート活動で行っていることの理解
- 1)運動部学生とは  
 学生の行うアスリート活動の理解
  - 2)社会の中の大学と個人（権利と義務1）  
 個人の権利とともに大学の一員として、社会に生きる者としての責務
  - 3)学業と競技活動（権利と義務2）  
 大学生は学業を修めることが目的であり、同時に競技活動を行っている
  - 4)なぜアスリートは評価されるのか  
 アスリートが評価されるのは競技成績ではない、その過程が評価される

- 3 アスレティックマインド(アスリート教育の基礎)  
 アスリート活動を行う学生に対してパフォーマンスから学修意欲を高める
- 1)学修習慣とトレーニングの関係  
 学修習慣とトレーニングの類似性、その相関性を理解する
  - 2)栄養とトレーニング科学の基礎理解  
 パフォーマンス向上のための栄養知識の視点から科学的理解を促す
  - 3)トレーニングと回復の科学的理解  
 パフォーマンス向上のためのトレーニングと回復の関係性の科学的理解

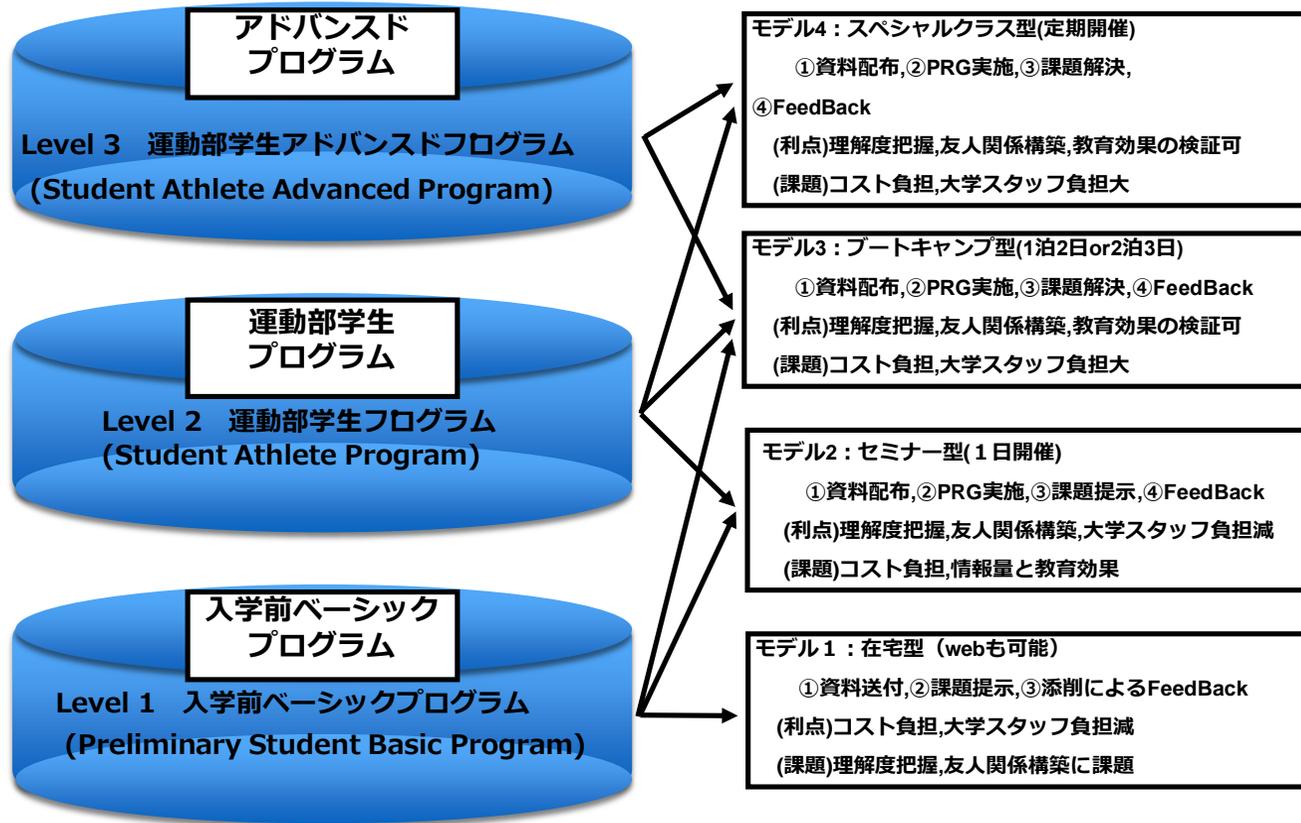
### アドバンスドプログラム

## テーマ 【学業充実】 入学前からの動機付け

### 事業案

資料③

### 段階別実施モデル



**最終目標：UNIVASの入学前プログラムを策定し各大学へ実施の協力をお願い**

# 【学業充実】テーマ2 学修機会確保

---

全日本学生テニス連盟 事務局長

植野 恵子 氏(主査代理)

## テーマ

## 【学業充実】学修機会確保

### UNIVASの事業案の概要

- ① 学修機会確保の取り組み →これから日程を確定させていく大会について授業日の試合開催を可能な限り回避できる取組みをUNIVASが支援する
- ② 指導者セミナー → 指導者倫理(コーチング哲学)と学業・アスリート教育の重要性に関する研修を行う
- ③ 指導者ライセンス → 資格取得支援及び指導者プロフィールの提供行う

### 担当部署

学業充実委員会－学業支援部会(仮) / 安全・安心委員会－指導者養成部会(仮)

### 開始時期

- ① (1)2019年4月1日以降にUNIVASカレンダー策定から開始、(2)2022年4月1日以降を目標に調整できる制度や体制を整備
- ② 2019年4月1日以降に順次開催を目指す
- ③ 2019年4月1日以降設立されたセミナーの受講を推奨し、2023年4月1日以降、加盟大学・競技団体と調整の上段階的に設定

### 加盟に伴う依頼事項及び協力をお願いしたい事項等の内容

- ① 【依頼事項】: 対象(大学／競技団体) - 関連する学事行事・大会日程をUNIVASへ共有すること  
【協力をお願いしたい事項】: 対象(大学／競技団体) - 学事日程を考慮した大会日程の決定並びに重なった際の学修支援を実施すること
- ② 【協力をお願いしたい事項】: 対象(大学) - UNIVASの理念やルールを遵守するための情報伝達会議の開催をすること  
【協力をお願いしたい事項】: 対象(大学) - 監督コーチなどの現場指導者の実態把握と指導者の育成をすること
- ③ 【協力をお願いしたい事項】: 対象(大学／競技団体)  
(1)指導者に対するUNIVASセミナーの受講の促進と指導者の情報提供すること  
(2)UNIVASセミナーと既存ライセンス制度を加味した大会制度の設計をすること(\*将来的な検討事項)

### 各大学各競技団体への影響

- ・ 競技団体において、大学の学事日程を一括して入手できる。学生が抱える「欠席による学業への不安」を将来的にさらに軽減できる(①)
- ・ 指導者へのコンプライアンス教育等が徹底でき、学業との両立への理解促進が図られる。将来的には指導者の見えるか等により価値が示せることによって職域の拡大などにもつなげることが出来る(②③)

## テーマ 【学業充実】 学修機会確保

### 事業案

短期目標

中期目標

長期目標

2019年4月

2022年  
(設立後3年後～)

2024年  
(設立後5年後～)

#### 依頼事項

- 関連する学事行事・大会日程のUNIVASへの共有(大学/競技団体)

#### 協力をお願いしたい事項

- 学事日程を考慮した大会日程の決定並びに重なった際の学修支援の実施(大学)
- 監督コーチなどの現場指導者の実態把握と指導者の育成(大学)
- 指導者に対するUNIVASセミナーの受講の促進と指導者の情報開示(大学/競技団体)
- UNIVASの理念やルールを遵守するための情報伝達会議の開催(大学)

- UNIVASセミナーと既存ライセンス制度を加味した大会制度の設計(\*将来的な検討事項)
- 学業と競技の両立を加味した日程調整(\*将来的な検討事項)

#### 2019年4月以降のサービス

- ✓ UNIVASが競技団体等の協力を得て、各大会日程を集約したUNIVASカレンダー(紙・WEB)を策定すること(\*時期検討)
- ✓ UNIVASセミナーを開催すること(\*時期、内容共に検討中、テーマ8と連携して詳細制度設計)

#### 2019年4月以降の活動

- ✓ UNIVASカレンダー最終化と継続発行のためのフロー策定
- ✓ セミナーの本格開催に向けた計画並びに将来的なライセンス制度や日程調整機能のための継続検討

## テーマ

### 【学業充実】学修機会確保① 日程調整

## 事業案

### UNIVASカレンダー(4月～翌年3月)の概要

Championship Event	Date	Facility	City	State
2018-19 DII Men's Lacrosse Semi-Finals	05/19/2018-05/19/2018	(TBD - 2 sites)	(TBD)	(TBD)
2018-19 DIII Baseball Super Regionals	05/24/2018-05/26/2018	(TBD - 8 sites)	(TBD)	(TBD)
2018-19 DII Men's Lacrosse Finals	05/25/2018-05/27/2018	Lincoln Financial Field	Philadelphia	PA
2018-19 DII Women's Soccer Automatic Qualifier Date	11/04/2018-11/04/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DIII Women's Volleyball Automatic Qualifier Date	11/04/2018-11/04/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DI Women's Soccer Automatic Qualifier Date	11/04/2018-11/04/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DI Field Hockey Automatic Qualifier Date	11/04/2018-11/04/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DIII Women's Soccer Automatic Qualifier Date	11/04/2018-11/04/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DI Field Hockey Selection Date	11/04/2018-11/04/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DIII Field Hockey Automatic Qualifier Date	11/04/2018-11/04/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DIII Men's Soccer Automatic Qualifier Date	11/04/2018-11/04/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DII Men's Soccer Automatic Qualifier Date	11/04/2018-11/04/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DIII Field Hockey Selection Date	11/04/2018-11/04/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DI Women's Soccer Selection Date	11/05/2018-11/05/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DII Men's Soccer Selection Date	11/05/2018-11/05/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)

- Web版様式: UNIVASウェブサイト運営会社と協議
- 内容: UNIVAS加盟競技団体の主な大会日程及びUNIVASの主な行事日程

### 例: 米国NCAAのWebスケジュール検索画面



- 印刷版様式: A2判かB3判
- 写真: 加盟大学・競技団体提供
- 内容: Web版同様
- 発行部数: 未定
- 費用: スポンサーによる協賛金

### イメージ: UNIVASの印刷版カレンダー

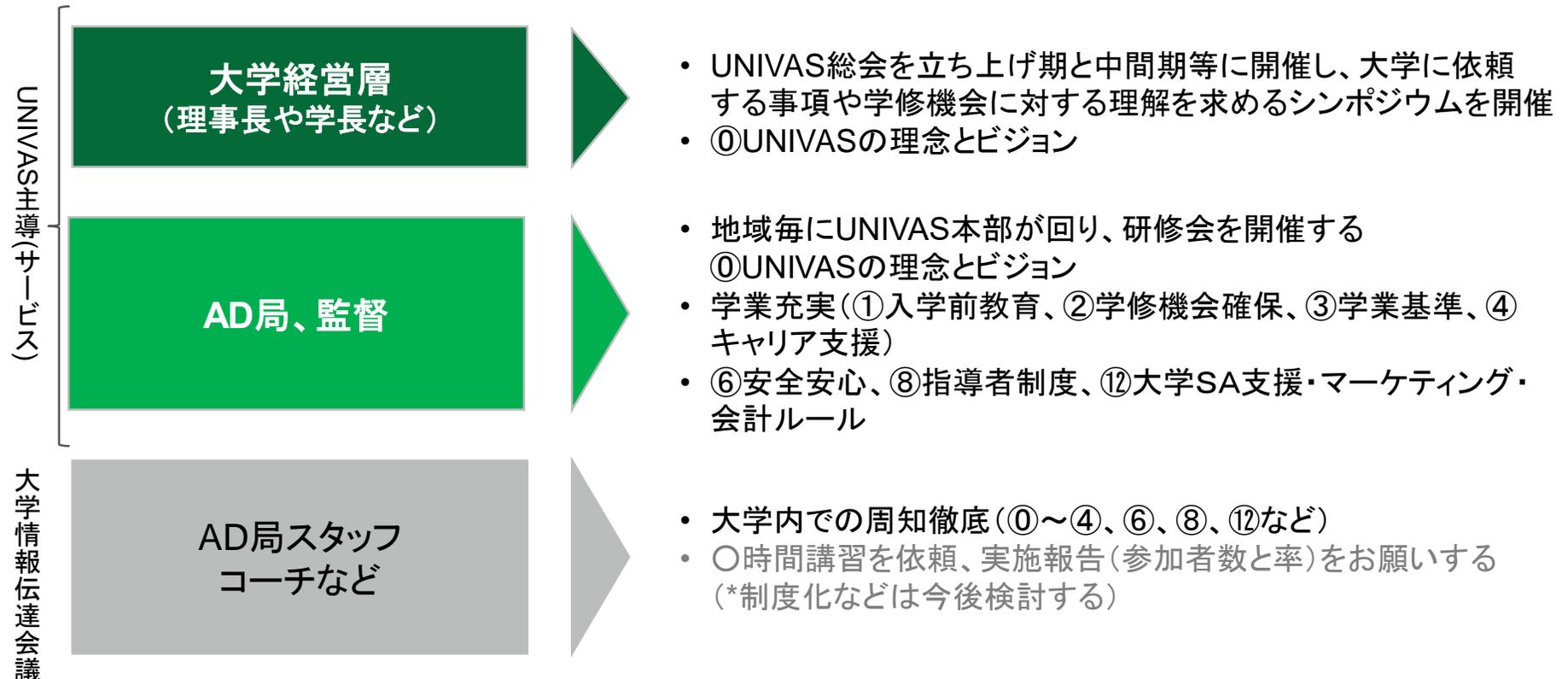
\*初年度は日程情報の収集・制度構築などに時間を要する為後期の日程を記載することを目標とする

## テーマ 【学業充実】 学修機会確保② 指導者セミナー

### 事業案

#### 指導者セミナー案

#### セミナー対象者



テーマ

【学業充実】学修機会確保② 指導者セミナー

事業案

指導者セミナーの研修内容案

(作業部会⑧で検討しているAD局長などを対象に行う指導者研修の内容の一部)

1. 指導者倫理(コーチング哲学)(90分)

①責任と危機管理

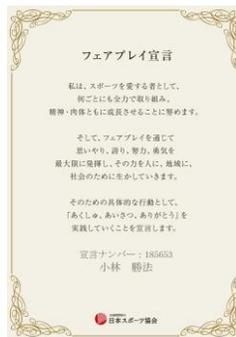
- ・ 事例(事故や暴力)紹介
- ・ 学生指導(危険防止教育)の重要性
- ・ アンガーマネジメント

②コーチング哲学・信念

- ・ グッドコーチに向けた「7つの提言」をもとにグループディスカッション

③フェアプレイ

- ・ フェアプレイ宣言(JSPO)をもとにグループディスカッション
- ・ 署名を勧める
- ・ 学生にも署名を勧めるように促す



2. 学業・アスリート教育の重要性(90分)

①単位制度の厳格化

- ・ 授業時間数確保(補講、予復習)
- ・ 欠席時の学修指導の必要性
- ・ 入学前教育

②デュアルキャリア支援の必要性

JSC「スポーツキャリア総合ポータル」をもとにグループディスカッション



③人間教育・スポーツマンシップ教育

- ・ 大学や競技団体の事例をもとにグループディスカッション

## テーマ

## 【学業充実】学修機会確保③ 指導者ライセンス

## 事業案

## スポーツリーダーのカリキュラム

2020年度変更予定

## 人間力

- コーチングおよびコーチとは
- スポーツの意義と価値
- コーチに求められる知識とスキル
- リーダーシップ
- 信頼関係構築におけるコミュニケーションの重要性
- コーチの学びとセルフマネジメント

## 現場・環境に応じたコーチング

- コーチング環境の特徴
- コーチングにおけるリスクマネジメント
- ハイパフォーマンスアスリートに対するコーチング
- スポーツ組織のマネジメント
- アントラージュの一員としてコーチングを理解する

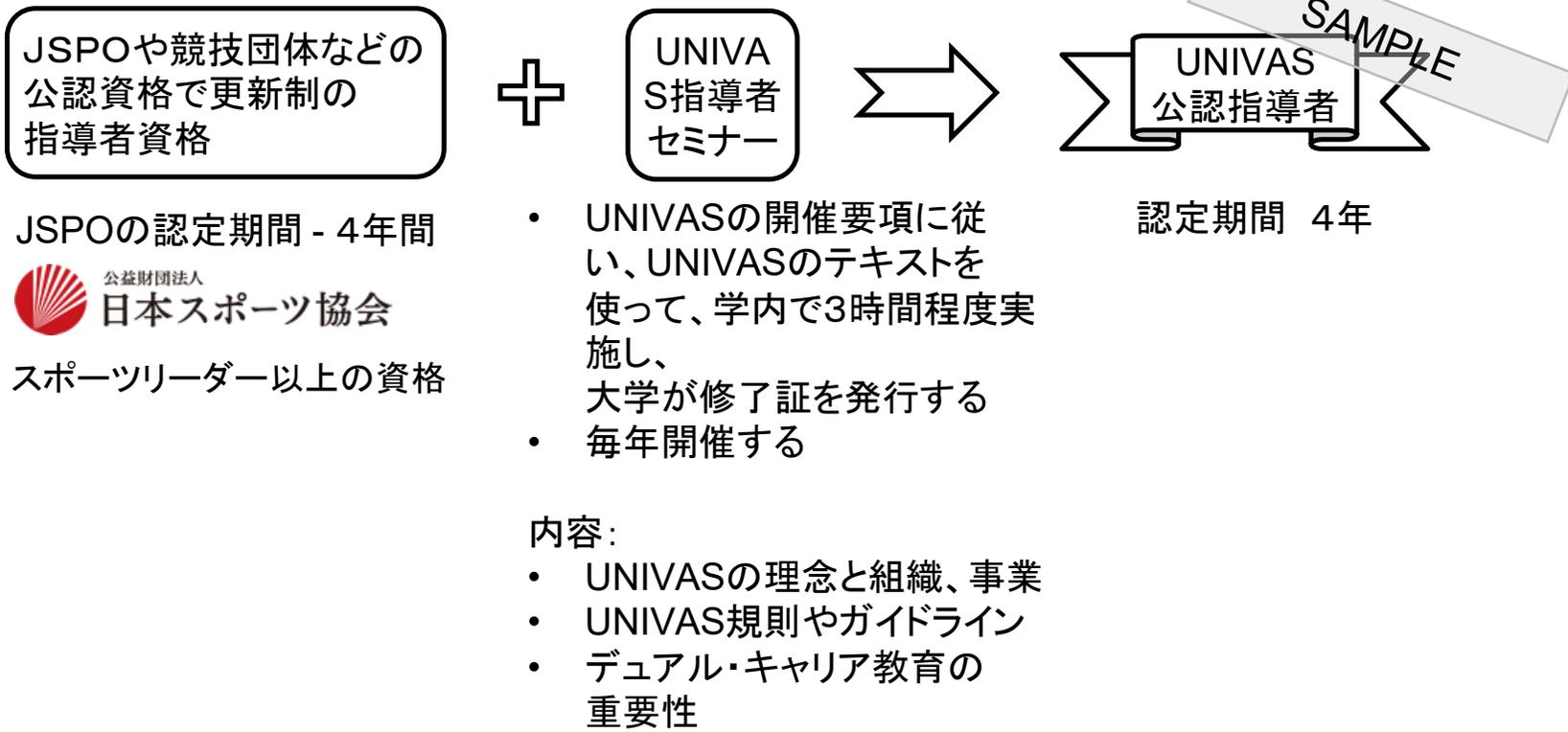
## 医・科学的知識

- 安全なスポーツ環境の構築
- スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系
- 体力のトレーニング
- スキルのトレーニング
- 心のはたらきと向き合い方
- スポーツと栄養
- スポーツに関連する医学的知識
- アンチ・ドーピング

テーマ

【学業充実】学修機会確保③ 指導者ライセンス

事業案



# 【学業充実】テーマ3 成績管理・対策、さらなる動機付け

---

事務局

## テーマ

## 【学業充実】 成績管理・対策、さらなる動機付け

### UNIVASの 事業案の 概要

- ① 成績管理・対策⇒学生の本分である学修を疎かにしないよう、対外試合に出場できる成績基準を設けて管理・制限していく基準に満たない学生に対してはUNIVAS後援のもとに、大学主導の学修支援・対策を講じて成績を伸ばしていく  
また様々な救済措置を設けることで学生の多様な選択を尊重できる制度とする
- ② さらなる動機付け⇒競技成績並びに学業成績が秀でている学生はUNIVASの目指すべき学生として称え、さらなる活動の充実のための動機付けとして主にUNIVASが学生を顕彰する制度とする

### 担当部署

学業充実委員会－学業支援部会(仮) / 特別委員会－表彰委員会(仮)

### 開始時期

- ①2022年度より適用(2022年3月までは実証期間として加盟大学・競技団体の協力を得ながら基準案や運用規程を定める)
- ②2019年度より適用

### 加盟に伴う 依頼事項 及び 協力をお願い したい事項 等の内容

- ① 【依頼事項】: 対象(大学)
  - 運動部学生の成績集約及び基準に基づくチェック体制の構築をすること(\*復帰判定含む)
  - 成績によって制限を課すこと等の承諾手続き体制の構築をすること
  - 勧告該当学生への学業指導体制の構築をすること
 【依頼事項】: 対象(競技団体) - 基準を満たさない学生の試合出場停止措置を設けること(\*復帰措置含む)
- ② 【依頼事項】: 対象(大学) - 表彰候補学生のGPA等、基準となる情報の提供をすること  
 【依頼事項】: 対象(競技団体) - 表彰候補学生の競技成績やベンチ所属などの情報提供をすること

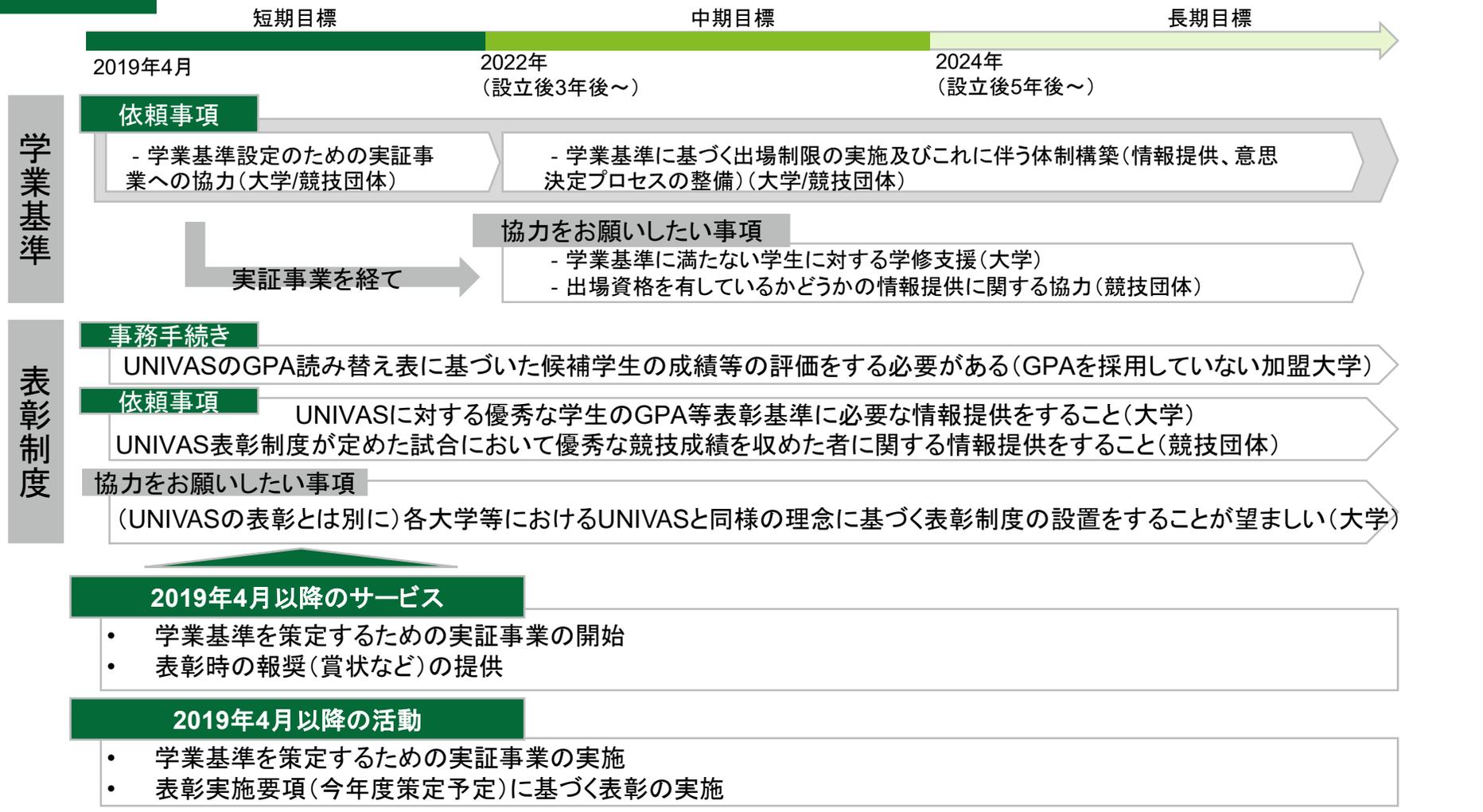
### 各大学 各競技団体 への 影響

- ① 学業についていけない学生へ指導体制を整備することで、留年・退学者等の減少
- ①② 運動部学生への勉学・学修への意欲付け
- ①② 学業に励み優れた学修能力を得て、競技を通じて人格形成やリーダーシップなどを体得した卓越した人材の輩出

## テーマ

## 【学業充実】 成績管理・対策、さらなる動機付け

## 事業案



## テーマ

## 【学業充実】①成績管理・対策

## 事業案

## 前提条件

- 学業基準(成績)は実証期間を終えた、2022年度の入学生から対象とし、年次進行とする
- 対象とする部活は、大学の代表権を有する部活とし、サークル等は除く
- 成績を外部へ提供する事、成績に応じて試合出場に制限がかかる事など大学・学生等関係者間のコンセンサス(学内規則等)を得る
- 単位修得者一覧名簿を部長名で作成した後に、大学(教務部等)の承認を得て提出する(\*詳細なプロセスは各大学へ一任)
- UNIVASへ学業成績を提出する「成績取り扱い部署(AD局相当、学生課など)」の要件等は、各大学に一任する
- 学業基準に違反した者に対する対処(処罰)については個人(連帯責任ではない)が負うものとする  
基準に満たない者の対応・指導は、各大学が行う(\*UNIVASの収益規模に応じてUNIVASによる学業支援サービス提供の可否は今後検討する)

## 今後の検討方針

- 今年度策定した成績基準案並びに運用規程(フロー)が現実運用可能か否かに耐えうるかどうかを2022年3月までの間に実証事業と位置付けて仮運用を行う
- 仮運用にて検証する項目(目的)は以下の通り
  1. 策定した学業基準が適切かの確認(単位基準の妥当性を確認するため、基準を仮に設定した場合何人程度該当するか)
  2. 多様な学生のための学業基準のパターンはどの程度必要かの確認(怪我、国際競技会への出場、競技留学などへの対応)
  3. 競技団体の試合日程や出場登録へのプロセスと成績基準を適応させるスケジュールが合致するか(複数競技・複数大学で検証)
  4. 基準に満たない者の復帰措置の検討、意思決定プロセスの詳細規則(米国NCAAの判例分析等)
  5. 基準に満たない者が試合に出場してしまった場合の措置など、考えられ得るケースへの対応(米国NCAAの判例分析等)

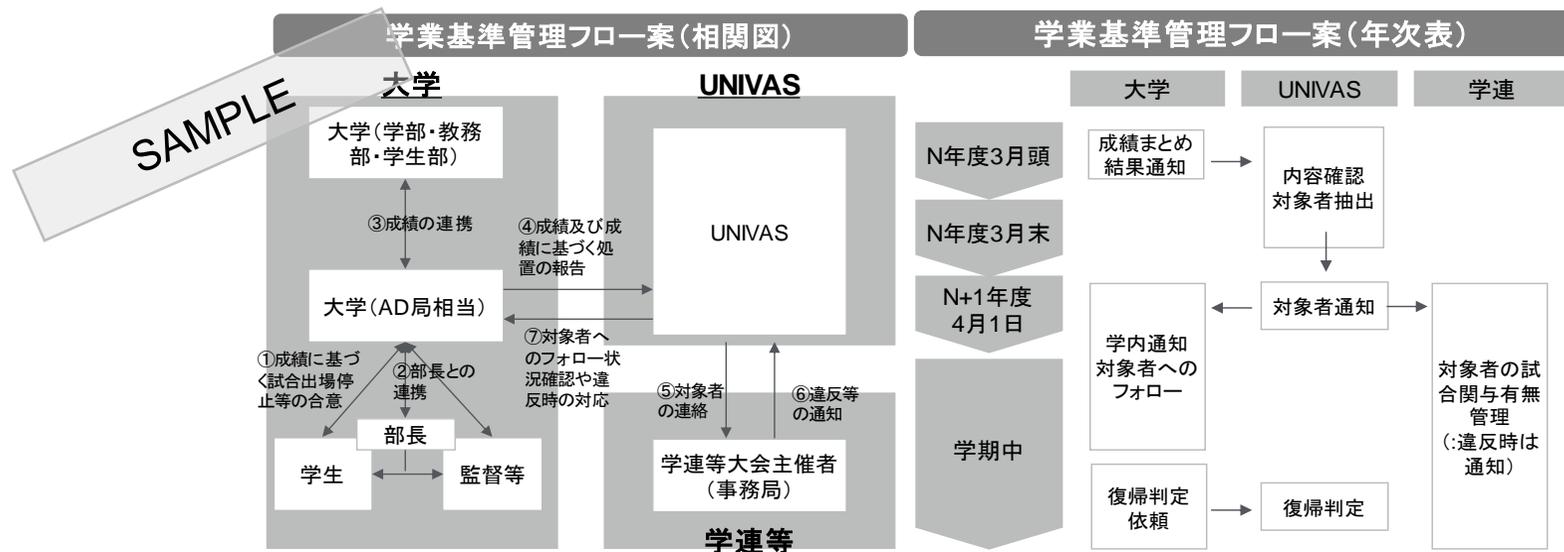
## テーマ

### 【学業充実】①成績管理・対策

## 事業案

#### 運用規程の概要(業務フロー)

- 各年の3月に大学で成績を集約し、基準に満たない者を特定し、UNIVASへ情報を提供する
- UNIVASは4月1日までに情報を確認し、基準に満たない者並びに措置内容を確定させ競技団体・大学へ周知する(\*基準・措置の案は次項)
- 大学は基準に満たない者と共に学修計画を立案し、UNIVASへ計画を提示する。計画通り学修し、UNIVAS・大学間で合意が得られた場合は復帰とする(\*原則、復帰タイミングはいつでも良いこととする)
- 競技団体などは基準に満たない者が試合に出場しないことの管理を行うが、基準に満たない者が試合出場していることが判明した場合は遅滞なくUNIVAS・関連大学へ報告し、対処策の検討委員会を開き措置を決定する(\*審議中の試合出場可否の方針などは今後要検討)



## テーマ

### 【学業充実】 ①成績管理・対策

## 事業案

### 成績基準案概要

- 成績基準は、大学二年次相当から適用する
- 二年次は基準に5単位満たないものは注意勧告とし、それ以下の者は対外試合への出場を認めない(出場停止)
- 三年次/四年次は基準に10単位満たないものは注意勧告とし、それ以下の者は対外試合への出場を認めない(出場停止)
- 注意勧告とは、試合出場は可能だが、大学並びに対象者は学修計画策定とその経過をUNIVASへ報告することを義務付ける
- 出場停止の場合は、対象者の対外試合への参加を認めず、学修計画とその結果(成績等のエビデンス)を提出することを義務付ける
- 出場停止から復帰するためには、上記学修計画策定とその結果(成績等のエビデンス)を基に関係者で合議し、復帰可否を判断する
- 復帰可能な時期については原則復帰基準が揃ったタイミングかつ合議で判断されればいつでも可能とする  
(\*報告フォーマット、報告内容、復帰基準は今後要検討)
- 怪我や競技留学など特別な事由の場合の単位基準(例:5年プラン)や特別な事情と認める基準は今後要検討

	取得すべき単位数 (基準)	勧告対象となる取 得単位数	出場停止となる取 得単位数
2年開始時	25単位	24~20単位	19単位以下
3年開始時	60単位	59~50単位	49単位以下
4年開始時	90単位	89~80単位	79単位以下

SAMPLE

## テーマ

## 【学業充実】 ②さらなる動機付け

## 事業案

### 前提条件・目的

- 学業と競技の両立が実施できている学生の活動の更なる充実のための動機付けとして顕彰制度を設ける
- 顕彰制度は、スポーツを通じた人材育成の役割が期待される中で、優れた功績を残した学生アスリートやチームを評価し、社会へ発信・認知して貰うことを目的としている
- 競技成績が優れているものを対象とする表彰制度に加えて、学業とスポーツの双方において優れているものを対象とする表彰制度を設けることとする
- 原則、表彰者(主体)はUNIVASで、受賞者は学生個人若しくはチーム・団体を想定している。但し、表彰の種類に応じて表彰実施を各競技会主催者へ委託・委任する場合もある(\*委託・委任の場合、表彰に関わる諸費用はUNIVASが負担するものとする)
- 表彰の対象とする競技会は原則加盟している競技団体が主催するものとするが、競技団体主催の大会のうちどの程度までを範囲とすべきかは討議の上決定する(例:加盟大学の参加比率によって対象外とする、フレンドシップカップのような親睦試合は除外する等)

⇒テーマ9にて表彰対象とする要件を整理中

### 表彰の種類

表彰は、次の通りとする

⇒テーマ9にてパラスポーツ・女性アスリートへ特化した表彰を検討中

#### • Sportsperson of the Year

競技成績を基準に「優れた競技成績」を修めたチーム及び個人について表彰する。チーム(団体)を表彰する場合はベンチ入り選手も表彰対象とする

#### • Best Scholar Athlete Award

「優れた競技成績」に加えて、「学業成績」の基準を設け、学業及び競技の双方において、他の学生アスリートの模範となるものについて表彰する

テーマ

【学業充実】 ②さらなる動機付け

事業案

表彰基準

- **Sportsperson of the Year**の表彰基準

競技成績が下記の要件を満たすもの

- **Best Scholar-Athlete Award**の表彰基準

競技成績が下記の要件を満たし、学業成績が「GPAO.0以上かつ所属学部等での成績が上位10%以内」のもので、所属大学の学長から推薦をされたもの(\*GPAの具体的な数値は今後の検討とする)

競技会の規模	該当する大会例	表彰主体者	表彰対象者	
			優勝等	ベスト8以上
世界大会相当	オリンピック・世界選手権・ユニバーシアード等	UNIVAS	スポーツ庁 長官特別賞	スポーツ庁 長官特別賞
全国大会相当	インカレ・全日本選手権等	UNIVAS	スポーツ庁 長官賞優秀賞	優秀賞
地区大会相当	地区ブロック大会等	UNIVAS 及び地区ブロック競技会主催者	優良賞	—

SAMPLE

※パラリンピックは競技団体があればそのまま同基準を適用し、競技団体がいない場合は検討対象とする

⇒テーマ9にて表彰対象とする要件を整理中

## テーマ

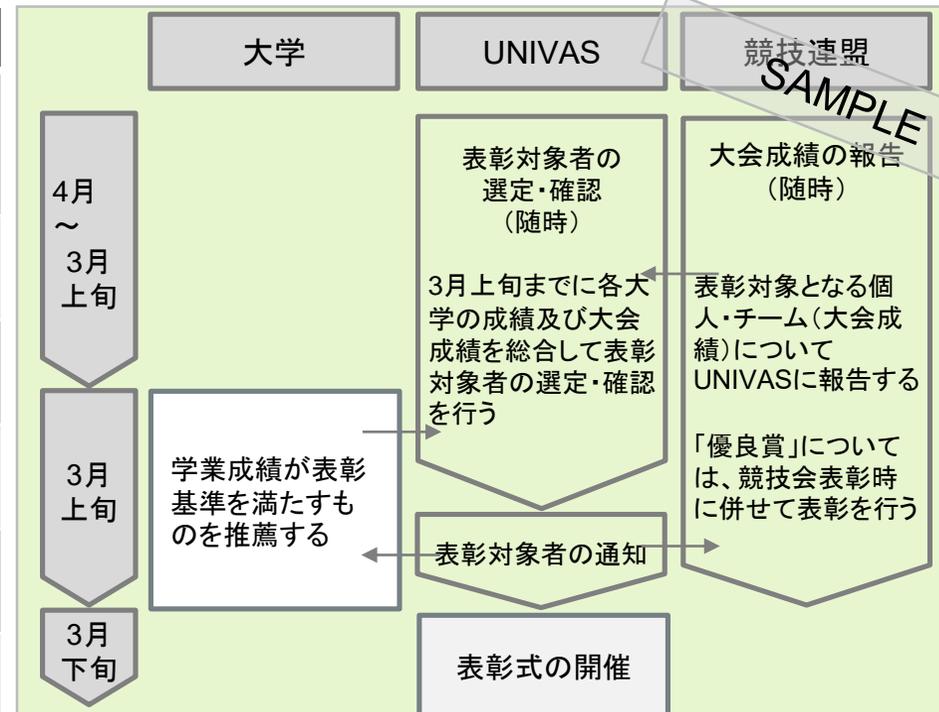
### 【学業充実】 ②さらなる動機付け

## 事業案

### 表彰の時期及び内容

- 原則として、該当年の3月下旬(\*4年生が卒業する前)に競技成績と学業成績を加味した表彰式を開催する  
但し地方大会等については、競技団体への表彰委託などを検討し、各競技会の表彰時に合わせて対応する
- 表彰内容について、UNIVAS設立当初は記念盾や賞状等を基本とするが、事業規模に応じて奨学金等への拡大も検討する

表彰の種類	表彰時期	表彰内容
スポーツ庁長官特別賞	3月下旬を目処にUNIVASによる表彰式を実施する	記念楯賞状
スポーツ庁長官賞	〃	記念楯賞状
優秀アスリート賞(優秀賞)	〃	記念メダル賞状
優秀スカラーアスリート賞(優秀賞)	〃	記念メダル賞状
優秀アスリート賞(優良賞)	各競技会における表彰時に併せて行う	賞状
優秀スカラーアスリート賞(優良賞)	〃	賞状



⇒テーマ9にてプロスポーツのイベント時期と突合中

## テーマ

## 【学業充実】②さらなる動機付け

## 事業案

## 今後の検討方針

- 今年度策定した表彰案を次年度より実行していくため、表彰実施要項を策定していく
- 実施要項を策定していく上で今後の論点は以下の通り
  1. 表彰を行う競技会の範囲をどの様に設定するか
  2. チーム(団体競技)を表彰する際に、表彰対象者をどの様に設定するか
  3. UNIVASが主催する表彰式はどの様に行うか、表彰内容も含めた、費用・規模をどの程度に設定するか
  4. 学業成績基準としてGPAを活用することについて承認を得ること
  5. GPAの係数が異なる場合及びGPAを採用していない大学に対するの取り扱いについて
  6. GPAの活用の際して、基準をどの程度に設定するか
  7. 連続して表彰対象となったものについては「特別賞」のような表彰を別に設けるか
  8. 評価者を誰にするか(表彰委員会での検討)

# 【学業充実】テーマ4 キャリア支援

---

大阪体育大学 体育学部 教授  
藤本 淳也 氏

## テーマ

## 【学業充実】 キャリア支援

### UNIVASの 事業案の 概要

- ① 学生アスリートの「デュアルキャリア支援」の担当部署を明確にして、担当者の配置  
→「JSCキャリアデザインアドバイザー育成研修」の受講生を配置することが望ましい
- ② 学生アスリートのキャリア教育機会の確保
- ③ 指導者セミナーの実施→「JSCデュアルキャリア教育プログラム(指導者向け)」等と→ キャリア講習の実施と参加しやすいシステムの構築の連携の実施が望ましい
- ④ UNIVASと学生アスリート保護者への報告・情報提供(キャリア支援活動報告、学生アスリートの就職率情報ほか)

### 担当部署

学業充実委員会－キャリア支援部会(仮)

### 開始時期

- ①2022年3月までに完了 / ②2022年3月までに1回以上実施、2022年4月からは毎年実施(案)
- ③2022年3月までに1回以上実施、2022年4月からは毎年実施(案)
- ④2019年度に2018年度の情報を提供し、以後は年次報告を行う

### 加盟に伴う 依頼事項 及び 協力をお願い したい事項 等の内容

- ① 【依頼事項】: 対象(大学) - 学生アスリートの「デュアルキャリア支援」の担当部署明確化、担当者を配置すること
- ② 【協力をお願いしたい事項】: 対象(大学) - キャリア講習の実施と参加しやすいシステムの構築をすること
- ③ 【協力をお願いしたい事項】: 対象(大学) - 指導者セミナーの実施をすること
- ④ 【依頼事項】: 対象(大学) - UNIVASと学生アスリート保護者への報告・情報提供をすること

### 各大学 各競技団体 への 影響

- ① スポーツキャリア教育、デュアルキャリア形成を理解し、効果的なプログラムを展開する人材が育成・確保できる
- ② 学生アスリート対象のキャリア教育機会が確保され、デュアルキャリア形成支援が推進できる
- ③ 指導者のデュアルキャリアの理解と支援が推進できる
- ④ UNIVASをハブとした会員大学との情報共有ができる  
キャリア教育への保護者の支援が期待できる

## テーマ 【学業充実】 キャリア支援

### 事業案



#### 依頼事項

- 大学内の運動部学生の進路状況や大学が行った支援内容に関する情報を、UNIVASへ情報提供すること(大学)
- 運動部学生のデュアルキャリア担当部署の明確化及び担当者の配置に向けた取組み(2022年を目途に対応いただく)

#### 協力をお願いする事項

- 運動部学生がキャリア講習を受講しやすい環境の整備及び指導者セミナーの実施(大学)

\*テーマ2のセミナー・指導者等の進捗に合わせて制度設計を引き続き検討

#### 2019年4月以降のサービス

- キャリア支援窓口の設置
- 会員大学の活動状況の情報収集と提供、学生アスリートへの有用な情報の提供
- 企業・団体との連携構築(JSCほか)
- 会員対象のセミナーの実施

#### 2019年4月以降の活動

- 情報取りまとめフォーマットや情報開示方法の整理、実行
- 企業・団体連携に向けた計画の策定と実行

## テーマ

## 【学業充実】 キャリア支援

## 事業案

		短期目標	中期目標	長期目標
		2019年4月	2022年 (設立後4年目～)	2024年 (設立後6年目～)
UNIVAS	制度構築 情報提供	キャリア支援窓口の設置 会員大学の活動状況の情報収集と提供 学生アスリートへの有用な情報の提供 企業・団体との連携構築(JSCほか) 会員対象のセミナーの実施 2022年以降の依頼事項の検討	会員大学の情報収集(依頼事項の運用状況、活動内容ほか) 会員大学への情報提供(他大学の活動、関連企業情報、関連機関情報ほか) 学生アスリートへの情報提供(支援企業、人材募集、留学、ボランティア、インターンシップほか) セミナーの開催(会員大学、新規会員大学、会員を目指す大学、ほか) 連携企業・団体との継続的な協力体制の構築・維持	
	部署明確化 担当者配置	【依頼事項】 デュアルキャリア支援担当部署決定 3年以内に担当部署に担当者を配置	継続会員：担当者の配置、担当者を中心に講習会やセミナー、情報収集&提供を展開 新規会員：入会年度中に担当者を配置し、事業を展開。翌年度から継続会員と同様に実施	
会員大学	学生選手対象 講習機会	【協力をお願いしたい事項】 キャリア講習プログラムの検討・構築 運動部学生対象に3年間で1回以上実施	継続会員：新入生対象に年1回以上実施。学生選手のための具体的な事業を年1回以上実施 新規会員：入会年度に新入生対象に年1回以上実施。その他、翌年度から継続会員と同様	
	指導者 セミナー	【協力をお願いしたい事項】 3年間で1回以上実施(JSCプログラム等)	継続会員：一定年数間に一定回数を継続して実施。具体的期間と回数は2022年3月までに決定 新規会員：入会年度に1回以上実施。以後、継続会員と同様に実施	
	情報提供	UNIVASに報告・情報提供：担当者・キャリア支援活動実績等の年次報告 学内の指導者や関係者、学生保護者への情報提供または情報公開：学生アスリートの就職状況、大学のキャリア支援状況など		

SAMPLE

テーマ

【学業充実】 キャリア支援

参考資料

	(n=69)
キャリアセンターや就職支援センターがある	64大学 (92.8%)
運動部員のためのキャリア支援に取り組んでいる	31大学 (44.9%)

<具体的な取り組み事例>

- 要望別各クラブへの出張セミナーを実施。事前に要望をヒアリングし、クラブごとに説明会を開催している
- 体育会主将会議において、企業から就職セミナー等の案内を受ける機会を設け、情報提供を行っている
- 就職センターと連携し、スポーツ学生対象に企業説明会や公務員講座を実施している
- 運動部員対象に就職ガイダンス年に3回、合同企業セミナー1回(体育会学生の採用意欲が高い企業対象)、クラブごとに個別ガイダンス実施している
- 体育会学生を支援する担当の専任職員を配置している
- 運動部の就職に特化した業者と提携してセミナー等を開催し支援している
- 体育会学生用に体育会系学生のための就職活動(就活)支援サイトを紹介し、合同説明会でも直接情報が得られるよう案内しています
- 体育会連合組織OB・OG会による就職セミナーが開催されている。“体育会所属の学生を対象とした就職セミナーを実施
- ほか

## テーマ

### 【学業充実】 キャリア支援 ステークホルダーとその役割の整理

## 参考資料

SAMPLE

短期的目標：システム構築のための情報収集と共有

中長期的目標：各大学独自及び日本版NCAAのシステム構築

- キャリア支援担当者の配置
- 学業成績、競技実績、進路等の情報管理
- 指導者対象のセミナーの実施
- UNIVASおよび会員大学との情報共有

- 指導者セミナーへの参加
- 学生アスリートの学業機会確保及びキャリア形成の支援
- 学生アスリートのキャリア関連情報の共有



- 学生アスリート担当者の配置
- デュアルキャリア支援プログラムの構築
- 学生アスリートを対象としたキャリアセミナーの開催等
- 学生アスリートの卒業後サポートの構築
- 保護者対象のセミナー・情報提供の実施

- UNIVASと連携するキャリア支援関連企業の情報提供
- 企業インターンシップ情報の提供
- 学生アスリート対象求人情報の提供
- 地域社会連携、ボランティア、留学プログラムへ参加機会の提供

\*大阪体育大学提供資料を基にデロイト・トーマツにて修正

## テーマ 【学業充実】 キャリア支援 UNIVAS: 「情報収集・提供とシステム構築」

### 参考資料

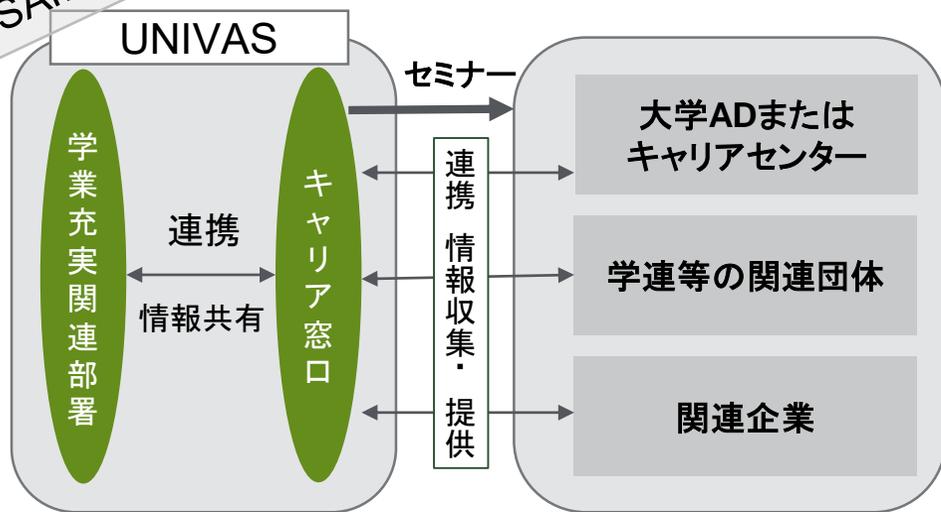
#### UNIVAS が提供するサービス

- UNIVASにキャリア支援窓口の設置
- 会員大学のキャリア支援に関する情報の収集と提供
- 学生アスリートへの有用な情報の提供
- 企業・団体との連携構築
- 会員大学対象のセミナーの実施
- 2022年以降の依頼事項と内容の検討と調整

#### 2022年3月までのマイルストーン

- UNIVAS内のシステム整備、会員大学からの情報収集・提供、学生アスリートへの情報提供、各大学におけるキャリア支援システム構築の支援を行う
- 計画的にセミナー等を開催し、会員大学をサポートするとともに、2022年4月から施行する依頼事項とその内容を検討し、決定する

### SAMPLE UNIVASによる「情報収集・提供」「連携促進・構築」「支援システム構築」



4年目以降の依頼内容の検討・調整

- 依頼事項(2022年3月までに設定を目指す):  
具体的には、以下のような事業実施の要求を想定している
- 大学アスリートのキャリア支援部署と担当者の設置すること
  - デュアルキャリア教育、スポーツキャリア教育を考慮した学生アスリートのためのキャリア支援事業を実施すること
  - 指導者向け講習会を実施すること

## テーマ

【学業充実】 キャリア支援 大学：「指導者セミナーの実施」

## 参考資料

### 大学が実施するねらい

- 指導者のアスリートキャリア形成、デュアルキャリア教育、キャリア支援の理解を醸成することで
  - 学内のキャリア支援部署・担当との連携強化
  - 学生アスリートのキャリア検討・学業の機会確保
  - 学生アスリートの卒業後のキャリア形成への寄与ができる

### 大学：2022年3月までのマイルストーン

- 3年間で1回以上の指導者セミナー（キャリア支援）を実施する
- 2022年4月から展開するキャリア支援事業を検討し、構築する

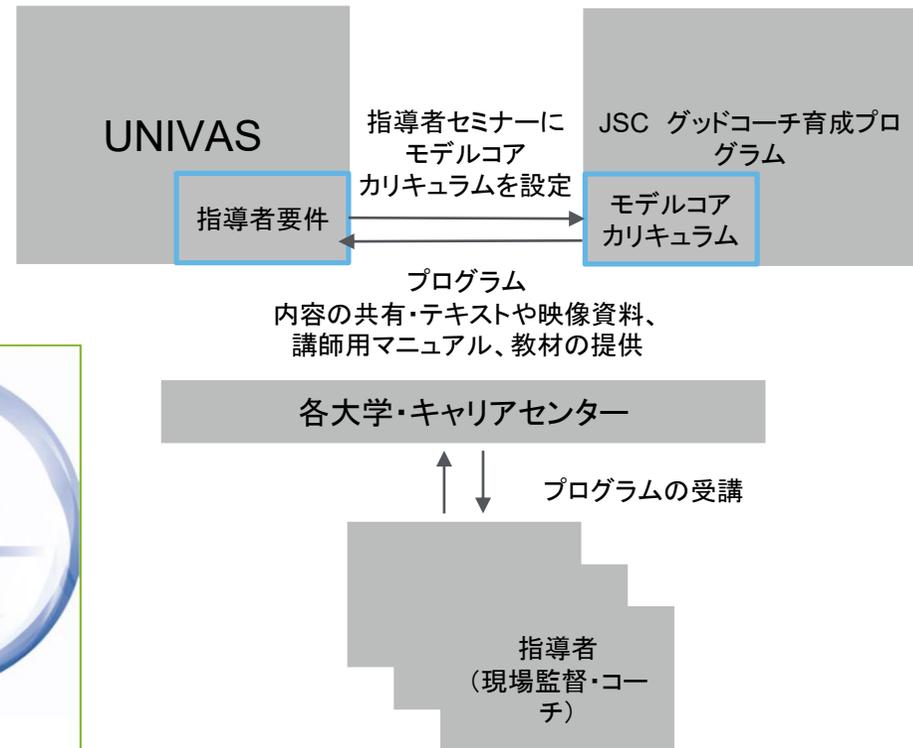
### UNIVAS: 2022年3月までのマイルストーン

- JSCをはじめ、どこどのような連携が現実的かつ効果的かを検討し、連携構築を行う
- 大学が実施する指導者セミナーの支援を行う
- UNIVASの実態に合わせたプログラムの構築を検討し、構築する
- 他のテーマで検討している「指導者セミナー」との連携を検討し、構築する
- 2022年4月から展開する依頼事項とその内容を検討し、決定する



SAMPLE

### 例：グッドコーチ育成プログラムとの連携



## テーマ

### 【学業充実】 キャリア支援

大学 & UNIVAS: 「学生への情報提供、講習の機会の提供」

## 参考資料

### 実施のねらい

- 大学: 学生アスリートへの情報提供と講習機会の提供
- 大学: 学生アスリートのアスリートキャリアとデュアルキャリアに対する意識の醸成
- UNIVAS: 既に事業展開している団体や民間との連携構築とそのプログラム活用
- UNIVAS: 大学が実施するキャリア支援事業の支援
- UNIVAS: 学生アスリートにUNIVAS独自の貴重な体験の提供

### 大学: 2022年3月までのマイルストーン

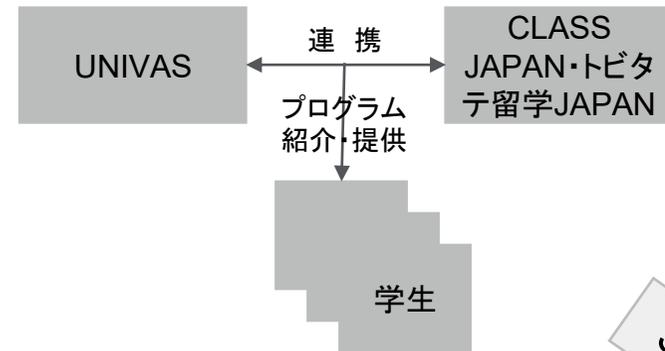
- 大学が実施するキャリア講習プログラムを検討し、構築する
- 新入生アスリートを対象に3年間で1回以上の講習を実施する
- 上級生アスリートを対象に3年間で1回以上の講習を実施する

### UNIVAS: 2022年3月までのマイルストーン

- JSCをはじめ、どことどのような連携が現実的か、またどのように連携すると効果的かを検討し、連携構築を行う
- 大学が実施する講習会の支援を行う
- UNIVASの実態に合わせたプログラムの構築を検討し、構築する。
- 他のテーマで検討している「指導者セミナー」との連携を検討し、構築する
- 2022年4月から展開する依頼事項とその内容を検討し、決定する

例:

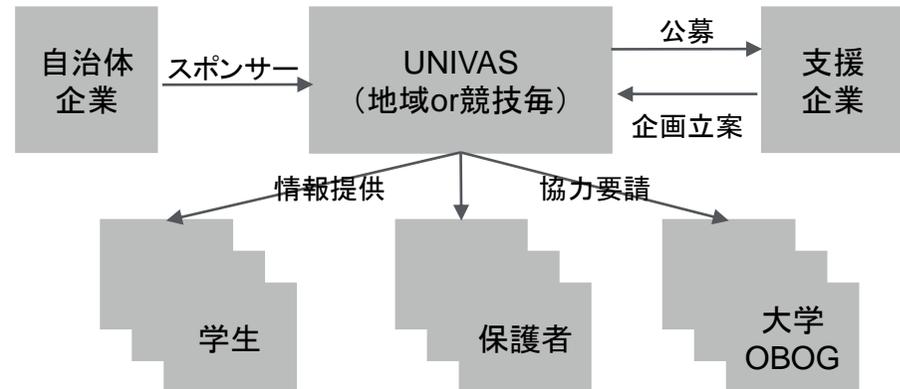
### 特別プログラム (CLASS JAPAN・トビタテ留学JAPANとの連携)



SAMPLE

例:

### 公募型キャリアデザインセミナー



SAMPLE

## テーマ

## 【学業充実】 キャリア支援 「官民が展開する支援プログラム事例」

### 参考資料

#### 目標設定支援

原田式メソッド(株式会社原田教育県境所)

例:

■ 大谷翔平が花巻東高校1年時に立てた目標達成表

項目	目標	達成状況	備考
身長	175cm	175cm	達成
体重	70kg	70kg	達成
打率	0.300	0.300	達成
本塁打	10本	10本	達成
盗塁	10回	10回	達成
三振	100回	100回	達成
エラー	10回	10回	達成
守備率	0.980	0.980	達成
投手	10回	10回	達成
防御率	1.00	1.00	達成
勝利	10回	10回	達成
敗戦	10回	10回	達成
完投	10回	10回	達成
完封	10回	10回	達成
ノーアウト	10回	10回	達成
ノーラン	10回	10回	達成
ノーヒット	10回	10回	達成
ノーエラー	10回	10回	達成
ノー失点	10回	10回	達成
ノーアウト	10回	10回	達成
ノーラン	10回	10回	達成
ノーヒット	10回	10回	達成
ノーエラー	10回	10回	達成
ノー失点	10回	10回	達成

(注)PSO、KQは目標達成の目安 (出典)スポーツエージェント

#### 学生アスリート就職支援

学生アスリート向け中小・ベンチャー企業就職サイト例:  
「アスリートエージェント」(株式会社アーシャルデザイン)

例:



#### 学生アスリート就職支援

体育会学生向け就職サイト例:

①「アスプラ」(株式会社アスリートプランニング)



②「リクナビ就職エージェント 体育会学生向け」(株式会社リクルートキャリア)



③「スポナビ」(株式会社スポーツフィールド)



#### 留学促進キャンペーン

「トビタテ！留学JAPAN」(文部科学省)



#### 不登校生徒支援制度

「CLASS JAPAN」(一般財団法人クラスジャパン教育機構)

